

令和3年度（2021年度）京都市立芸術大学
大学院美術研究科（修士課程）入学試験

令和2年11月8日実施

小論文問題

小論文A（絵画専攻，彫刻専攻，保存修復専攻）

芸術家の評価は、生涯にわたって高く評価され芸術史においても確固たる地位を確立することもあるが、作品の発表当時は酷評されていてもその後の芸術の動向によって再評価されることや、その反対となることもある。

そこで、芸術家の評価を大きく同時代と現代に分けて下記のような表を作った。

	同時代の評価	現代の評価
A	高い	高い
B	高い	低い
C	低い	低い
D	低い	高い

次の1から3の問を答えなさい。

1. 上記A，B，Dにあてはまると思われる芸術家を具体的に1名ずつ挙げなさい。
2. 1で挙げたそれぞれの芸術家の作品の特徴と時代背景を関連付け、なぜそのような評価となったのかを考察しなさい。
3. 2の考察を踏まえた上で、自分の制作について思うところを書きなさい。

小論文B（デザイン）

あなたの考える理想のデザインとはどのようなものですか。

具体例を挙げて理由とともに書いてください。

※具体例は、既にあるデザインの実例のほか、あなたの想定するデザインのありかたも含むものとします。

【次ページに続く】

小論文 C (工芸)

あなたはなぜ工芸を制作するのか，工芸制作が抱える課題とその意味について社会と関連づけながら論述してください。

小論文 D (芸術学)

芸術学の研究と社会との関わりについて論じなさい。

小論文 E (本科留学生)

芸術の国際性とその課題について論じなさい。